

# 公民館訪問NEWS

## 只見振興センター訪問 ～つる細工講座～

2月1日(水)只見振興センターのつる細工講座を訪問しました。只見民芸品保存会の皆さんは、おしゃべりを楽しみながら思い思いの作品づくりに励んでいました。



【“学び合い” 作業の難所はアドバイスをしたり・受けたり 悩まず気軽に相談、そして即実践】



【“豊かな個性” 編み込み作業には一人一人の性格が現れるそうです でも大丈夫!多少の不揃いは“味”です】



【“これまで作った作品” 普段使いの愛用品たち「使う物をつくる!」】

コンセプトは「暮らしに必要な物・使う物」をつくる。昔から冬の手仕事として根付いているものづくりの技術は脈々と受け継がれてきており、ユネスコエコパークの根幹である「自然との共存」の姿が具現化されています。春から秋にかけて主にアケビのつる等を集め、水にさらし柔らかくして材料にします。最近は山林の荒れやクマの出没でなかなか手に入らないことも。それでも皆さんは自前の材料を持ち寄り、作品づくりに打ち込みます。作業は楽しくお話しをしながら。「騒がしくてビックリしたでしょ。いつもこうなの。」(でも作業の手は止まりません。スゴイ!)みんなで集まることも目的の1つ。「家で1人だったらやらないね。」「家でテレビばかり見ていられないもんね。」イキイキとした皆さんの表情が印象的でした。

保存会の皆さんの作品は町の文化祭や雪まつりで披露・販売(格安でオドロキ!)され、また小学校に出向いてのつる細工教室も行われます。町の伝統保存を担う皆さんの活動が今後も続きますように…。後継者募集中!

【只見産ミツバアケビの蔓】



使い込むほど味が出るのがつる細工作品。色・つや…表情が変わっていきます。しかも長持ち!